

令和7年度第2回中央区支え合いのまち推進協議会における意見に対する回答

No.	委員	所属	意見	地域福祉課回答
1	石原 久義	千葉みなと地区部会	<p>社会福祉法第107条の規定により次に掲げる事項を一体的に定め計画①～⑤で基本的な考え方と方向性がわかるのですが、実施段階での項目があまりに多く、結局実行段階で同じような内容のものが重複してしまう結果となっていました。基本方針の項目が現在7項目あり、これを3項目程度に減らしても内容的にはカバーできるのではないかと考えます。</p> <p>支え合い推進の目的は、今後高齢社会での医療費を含めた社会保険財政が破綻することを危惧してのことと理解しています。この意味で高齢者と障害者に対する支え合う取り組みに重点を置いた基本計画に縮小してはどうでしょうか。</p> <p>防災関係、防犯・児童見守り(セーフティーウォッチャー)はすでにどの部会でも取り組んでいる内容ですので、基本項目としては一纏めにしてもいいのではと思います。</p>	<p>取組項目数について、次期地域福祉計画では「共通的な地域の取組」を記載する予定ですので、取組項目の検討にあたってご意見を参考にしていまいります。</p>
2	小柳 光代	あんしんケアセンター 松ヶ丘	<p>各分野の上位計画とすることに対して異論はないが、そのことにより各部門計画(下位計画)との関係性がどのように変わるのか。全体像の提示がないので、わかりにくい。</p>	<p>地域福祉計画と各部門計画の関係性を共有することで、地域福祉の理念を各部門計画の施策等に反映していくことを目指してまいります。</p>
3	小柳 光代	あんしんケアセンター 松ヶ丘	<p>「課題や取組み内容は報告するが、評価は報告しない。」の意図がわからない。「統一の様式による評価は行わないが、推進協の中で取組み評価いただいたものを専門部会に報告する」ならわかるが…</p> <p>課題や取組み内容だけの報告では、今後の地域福祉計画策定や、現計画の妥当性の検討には不十分ではないか。</p> <p>「評価の用紙に記載すること(記載内容を考えること)が大変という声があったから、統一の評価は行わないことになった。各区の推進協で必要だと思ったらやってください。でも、専門部会への報告はしなくて結構です。」という説明に聞こえた。</p> <p>これでは、「今まで報告していた評価がなくても専門部会は困りません、特に必要ではありません。」と言っているのと同じではないか。</p> <p>評価の報告に対する代替案の提示が必要であったのではないか。</p>	<p>地域の自主的な取組を「○」、「×」といった評価をすることは馴染まないと考え、取組を振り返っての感想や改善点などを報告いただくことを検討しております。</p> <p>しかし、11月の地域福祉専門分科会において、推進協の意見を踏まえて決定することとなりましたので、各区の推進協のご意見を踏まえ、評価方法を決定する予定です。</p>

令和7年度第2回中央区支え合いのまち推進協議会における意見に対する回答

No.	委員	所属	意見	地域福祉課回答
4	小柳 光代	あんしんケアセンター 松ヶ丘	PDCAサイクルに則った評価をどのように行うかがあいまいで、何度説明を受けても理解することができなかった。幹事会で説明を行った際に、推進協と同じ質問が出たと記憶している。幹事会で受けた質問をもとに、わかりやすく説明内容を変更することは考えなかったのか。幹事会で理解できなかったものを、何の変更もなく同じ説明をして理解していただけと思ったのが、最大の疑問でした	地域の取組の評価は、4段階の定性評価ではなく、現在も行っている振り返りという形で実施いただき、その内容を踏まえて市の取組や計画の策定に活用したいと考えておりますが、各区の推進協のご意見を踏まえ、決定いたします。
5	宍倉 和雄	蘇我地区部会	次期福祉計画(案)には概ね賛同します。地区部会年度計画書の記載項目が多すぎ、基本方針と取組項目が重複しているので区分の明確化と簡素化を希望します。	地域福祉計画が地域福祉活動を実施する地域の皆様にとって分かりやすい内容となるよう、留意してまいります。
6	宍倉 和雄	蘇我地区部会	評価に関しては地区部会それぞれの状況が異なるので自己評価に関してはそれぞれの地区部会の判断を尊重しますが、結果公開に関しては検討の余地があると思われます。但し、各地区部会の報告に関しては運営の参考になるので、推進状況の報告は必要と思われます。	ご意見のとおり、推進協において各地区部会等の取組状況を共有することは、有意義であると認識しております。次期地域福祉計画においても、推進協において地域の取組みや課題に関する発表や意見交換がなされるよう事務局とも検討してまいります。
7	宍倉 和雄	蘇我地区部会	市の取組みの評価方法について、アウトカム指標の採用と定性・定量に分けるとのことですが、その区分を明確にしてほしいと思います。(地域のマンパワーが大きな要素で活動していますので)	ご意見を踏まえ、市の取組みの評価方法等を検討してまいります。
8	高橋 美智代	中央東地区部会	「福祉のことは民生委員に任せておけばよい」という考え方が、町内自治会に根強く、自治会長たちへの理解が必要です。実際、地区部会の会合への参加率が低いです。各町内自治会から福祉推進員を選出して、人員を確保したいと思っています。また、地区部会が主体としながらも、地域住民には知らない人も多く、地区部会の理事でさえよく分かっていない人もいます。まずは、住民への地区部会の周知と理解をしてもらうことが、私たちの目標です。	ご意見のとおり町内自治会をはじめ、地域の方々と一緒に取り組んでいく必要があると認識しておりますので、市としても地域福祉の推進に向けて市社会福祉協議会とともに周知に取り組んでまいります。

令和7年度第2回中央区支え合いのまち推進協議会における意見に対する回答

No.	委員	所属	意見	地域福祉課回答																		
9	高橋 美智代	中央東地区 部会	<p>取組項目が多いので、精査してほしい。 イベントについては、分かりやすく表記載にしてはどうか。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント</th> <th>回数</th> <th>会場数</th> <th>内容</th> <th>狙い</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いきいきサロン</td> <td>年4回</td> <td>3</td> <td>講話・歌</td> <td>おしゃべり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ちびっこひろば</td> <td>年6回</td> <td>1</td> <td>自由遊び</td> <td>ママ交流</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>地区部会が関わらない行事は記載しなくてもよいのではない か。避難所運営委員会など（空欄にしたくないので記入して います） 評価欄には、「次年度検討」などできていないことを意識づ けすることも大切と思います。</p>	イベント	回数	会場数	内容	狙い	備考	いきいきサロン	年4回	3	講話・歌	おしゃべり		ちびっこひろば	年6回	1	自由遊び	ママ交流		<p>ご意見を踏まえ、次期地域福祉計画に掲載する取組みや推 進協から報告いただく内容について、分かりやすく有用な 内容となるよう留意してまいります。</p>
イベント	回数	会場数	内容	狙い	備考																	
いきいきサロン	年4回	3	講話・歌	おしゃべり																		
ちびっこひろば	年6回	1	自由遊び	ママ交流																		
10	高橋 美智代	中央東地区 部会	<p>全体構成については難しくよく分かりませんでした。 理念計画は、分かりやすいものにしてほしいと思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、分かりやすい計画となるよう留意してま いります。</p>																		
11	武井 雅光	中央区町内 自治会連絡 協議会（蘇 我中学校 区）	<p>次期計画の方向性を検討するには、現計画のここまでの評価 や課題、更にこれまでの計画についての評価や課題を明確に し、それを受けて次期計画にどう反映するか考え方向性を決 めるべきである。これが無いのは極めて問題だと感じる。 これまで第1期計画から第5計画まで、何度も見直し・策定 作業を行ってきたが、しっかりしたその時々現状把握や評 価が行われず、課題と対応策の検討も不十分のまま行われて きたとの感を強く持つ。そして今回も全く同じとの感を持 つ。例えば、 2-1-(1) 地域の取組みの推進主体の項で、現状把握が 伝聞調で具体性が無い。「地区部会が地域活動の取りまとめ 役を担える体制に無い」地区部会は全体のいくつかあると評価 しているのか。そこをはっきりさせなければ、現状の枠組み での補強ですむのか、大幅な変更見直しが必要なのか判断で きないと考える。</p>	<p>ご意見のとおり、次期地域福祉計画は現行計画における取 組状況の評価や課題を踏まえ、策定を進めていく必要があ ります。 地域福祉計画を切れ目なく推進する関係上、現行計画の計 画期間中に次期計画を策定する必要がありますが、可能な 限り最新の状況を踏まえて課題等を把握するとともに、地 域福祉専門分科会におけるご意見を賜りながら策定に取り 組んでまいります。</p>																		

令和7年度第2回中央区支え合いのまち推進協議会における意見に対する回答

No.	委員	所属	意見	地域福祉課回答
12	武井 雅光	中央区町内自治会連絡協議会（蘇我中学校区）	<p>私は第1期計画の策定から地域福祉計画推進に継続して関わってきたが、現状の評価と課題は以下の通りと感じている。</p> <p>（1）各区地域福祉計画は、活動しにくい状況に置かれていたにもかかわらず、町内自治会等の地縁団体を含む各地区部会の大変な努力のおかげで、かなりの地区でまずまずの成果を出してきたと評価し合格点を付けられると判断する。担い手として、ボランティア団体・NPO等にも期待して、パイロット事業等の実施に際して参画や分担して担ってくれることを働きかけたが、全く成果は無かった。そうした経緯があるのに、次期計画の担い手の一つと考えるのは、「ない物ねだり」で成果が上げられないだけと考える。</p> <p>（2）市地域福祉計画は、基盤整理等ではかなり進展したものの、もう一つの主目的である「各区地域福祉計画の支援」では、一部資金援助以外全く行っておらず、不合格と判定する。さらに問題なのは、そうした課題を自分たちがやるべきこととの認識が市役所の各部課に無いと思わざるを得なかったことである。具体的には、最重要課題の「担い手確保」の為に地区部会支援や人材の育成、地域福祉活動に必要な活動拠点の確保の課題である。解りやすい例として、活動拠点の確保が自分たちがやるべきことと認識し、その確保に動いた部課が認められなかったことは、事務局の地域福祉課の怠慢ではないか。さらにひどい例として、資産経営課では、南部青少年センター老朽化対応の際、その地域の地域福祉計画推進の活動拠点になっているにもかかわらず、対応すべき項目の中でそんなものは考慮外との認識である。</p> <p>（3）現計画までの最大の課題は、市計画で定める「各区の地域福祉計画推進の支援」を市がきちんと行ってこなかったことにあると考える。特に「地区部会支援」、「活動拠点の確保」について、市は実施責任部署を定めて早急に対応すべきと考える。</p>	<p>地域福祉計画は、地区部会をはじめ地域に関わる方々が参画して推進していくことが望ましいとの考えから、次期地域福祉計画の方向性を作成しました。</p> <p>また、市計画の推進にあたり、ご意見のとおり各所管課と地域福祉計画の理念を共有し、取り組んでいくことが重要ですので、庁内会議などを通じて庁内の周知や連携・協力に取り組んでまいります。</p> <p>地域の取組みに対する市の支援についても、各所管課と課題等を共有のうえ、庁内で連携して取り組んでまいります。</p> <p>なお、地区部会への支援については、社会福祉協議会と協議してまいります。</p>

令和7年度第2回中央区支え合いのまち推進協議会における意見に対する回答

No.	委員	所属	意見	地域福祉課回答
13	武井 雅光	中央区町内自治会連絡協議会（蘇我中学校区）	一方、現状のまま第6期計画を策定した場合、市計画で定める「各区地域福祉計画推進の支援」がどの程度行われるかにもよるが、やはり担い手不足を主課題として、地域福祉計画を明確により進展させるのは非常に難しい状況と想定する。地域福祉計画をかなり良く進めている地域でも、現状で手一杯の感があり、又あまり進めることができていない地域では、リーダー的な人材不足もあって更に難しい状況にあると考えられる。そして、担い手不足の課題改善の見通しは、現状を見るとほとんど期待できない状況にあると思われる。	次期地域福祉計画においても、引き続き地区部会を中心として推進していただきたいと考えております。一方、地域福祉の推進にあたっては、地域住民をはじめ、地域で活動される方々に参画いただくことが重要であると考えるため、地域で活動される多様な主体を地域福祉活動に取り込んでいくための方策について、委員の皆様からご意見賜りながら検討してまいります。
14	武井 雅光	中央区町内自治会連絡協議会（蘇我中学校区）	「地域福祉の推進」と同じ目的を持ちながら、地域に「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」の2つの計画が存在することは、解りにくいばかりか効率的にも無駄と言わざるを得ない。1つにしない理由は何か。また、1つにすべきではないのか。	「地域福祉計画」及び「地域福祉活動計画」は、市又は社会福祉協議会がそれぞれの立場・責任のもとで策定する計画であることから、異なる計画であると考えております。一方、ご意見のとおり「地域福祉の推進」を目的とした計画であることから、次期計画の策定にあたっては、地域課題や地域福祉の理念を共通のものにするなど、一体的な策定に向けて取り組んでまいります。
15	武井 雅光	中央区町内自治会連絡協議会（蘇我中学校区）	両計画を一体化し、CSWをはじめ社協のマンパワーを主体的に地域に投入し、地区部会やもしあれば地域の他の資源とも一緒になって、その地域の重点課題から解決に向けて取り組む体制をつくれば、計画の進展も期待できると考える。この場合、地域福祉計画が市の上位計画であることも配慮し、「地域福祉計画」は地域福祉を進めるための理念や仕組みをつくる基本計画とし、それを実行するための市民の活動・行動のあり方を定める計画を「地域福祉活動計画」としてもよい。そして、計画推進を加速するため、社協スタッフや生活支援コーディネーター等も地域に投入し、個々にいくつかの地域を担当して、地域と一緒に計画推進に当たる体制づくりを提案したい。	地域福祉計画と地域福祉活動計画が両輪となって地域福祉の推進に一体的に取り組めるよう、計画の策定段階から市社会福祉協議会と連携・協力してまいります。

令和7年度第2回中央区支え合いのまち推進協議会における意見に対する回答

No.	委員	所属	意見	地域福祉課回答
16	堀江 亜希子	あんしんケアセンター 千葉寺	<p>地域福祉計画は、自治体が地域住民と共に地域福祉を推進していくためのものと認識しています。その上で、千葉市が目指している『地域共生社会』が、どの程度千葉市民と行政とで共通認識が持てているのでしょうか？</p> <p>第6期に向けて、これまでの地域福祉計画を評価している事と思いますし、計画でたてた目標はどの程度達成されているのでしょうか？その辺も地域福祉計画の中に盛り込んだ方が良いと思います。</p> <p>(なぜ、今回の計画をこのように立てたかという根拠が見えるようにしないと継続性あるものとして認識できないと思います)</p> <p>※あんしんケアセンターで働いていると地域共生社会の目指す姿はまだまだ道半ばと感じています。</p> <p>例) 「うるさい高齢者を黙らせてほしい」「認知症だから、施設に入れた方がいい」など市民の方からご連絡をいただくことがあります。</p>	<p>千葉市地域福祉計画の認知度について調査を行ったことはありませんが、市民アンケートにおいて、地域福祉活動への参加状況や地域福祉活動の認知度についてお聞きしています。</p> <p>今年度実施した結果では、回答いただいた方の約30%が地域でどのような地域福祉活動が行われているかを把握しておらず、約70%が地域福祉活動に参加したことがないとの結果でした。</p> <p>そのため、引き続き地域共生社会の実現に向けて取り組んでいく必要がありますので、ご意見のとおり第5期計画の課題や評価、社会情勢の変化などを盛り込みながら次期地域福祉計画を策定してまいります。</p>
17	堀江 亜希子	あんしんケアセンター 千葉寺	<p>支え合いのまち推進協議会は、地域福祉計画を実現していく上でのとても大切な「地域福祉ガバナンス」の1つであると千葉市は認識していると理解しています。また、地域福祉計画の策定・改定ガイドブック内には、『定期的に、その策定した地域福祉(支援)計画について、「調査、分析及び評価を行うように努める」ことが明記され、PDCAサイクルを踏まえた進行管理の必要性が示された』とありました。それ以外にも度々、評価の重要性の記載がありました。</p> <p>その中で、地域で活動する団体の評価のする/しないをそれぞれの推進協に任せるということは、地域福祉計画の達成状況を評価しないと言うことに繋がるのではないのでしょうか？</p> <p>※ガイドブックP92には『「D」だけに注目して事業の実施状況や実績だけの評価に留まらず、どのように「改善」したか、あるいは「修正」したかという「C」「A」の視点を含むことが必要です』とあります。このことから、各団体の成果を報告するだけでは、十分でないように思います。</p>	<p>ガイドブックP.86に「住民主体の計画の目標(評価指標)は、いわゆるプロセス指標が重視されるべきですが、行政計画としてはプロセス指標ともに、定量化とアウトカム目標(指標)も求められています。」とありますように、地域の取組み(住民主体の計画)については、定量評価は馴染まず、取組みにあたっての過程や振り返りが重要であると考えたところです。</p> <p>市の取組みについては、ご意見のとおりPDCAサイクルによる進行管理が重要であると認識しておりますので、ご意見やガイドブックの内容を踏まえながら評価方法を検討してまいります。</p>

令和7年度第2回中央区支え合いのまち推進協議会における意見に対する回答

No.	委員	所属	意見	地域福祉課回答
18	堀江 亜希子	あんしんケ アセンター 千葉寺	<p>千葉市が行う事は、評価をすることを各団体に委ねるのではなく、目標設定の際どのように目標設定をすると評価しやすい、実行しやすい目標となるか？等を各団体への周知、作成方法等を協働で検討等していくことではないでしょうか？（ガイドブックP108にも「地域住民等とともに進める事業・活動に関する目標（評価指標）については、そのプロセスに関わる物も多く数値化にはなじまない場合もありますが、地域住民等との十分な協議のもとに、具体的なプロセスの目標を設定できるように留意します」と記載あり）</p>	<p>ご指摘の件については、市の取組みのうち、地域住民の協力が不可欠な取組について言及しているものと理解しております。</p> <p>例えば、地域運営委員会の設置などは地域の理解と協力がなければ困難な取組であることから、設置数以外の要素（地域の方にどのようなアプローチを行ったのかなど）についても留意する必要があると思います。</p> <p>一方、地域生活課題を解決するために地域の方が取組みを検討される場合に、どのように目標立てて実施するのがよいかなどはご意見のとおり協働で検討できると思いますので、市社会福祉協議会と連携し、取り組む必要があると考えております。</p>
19	堀江 亜希子	あんしんケ アセンター 千葉寺	<p>先日の、地域福祉課の説明には、そのように受け取れるような説明が多くあるように感じました。</p> <p>先日の推進協でもお伺いした「負担感」は誰の負担感なのでしょうか？</p> <p>もし、各団体へ評価を聞きに行くことの負担感が、現場や地域住民にとって負担なのであれば、先日聞いたスケジュールでは、負担は変わらないと思います。</p> <p>もう少し、期間をあけて確認するまたは、評価を1回にする等、『評価すること』を省くのではなく、どうしたら効率的に皆の負担無く出来るか？という仕組みを考えるのが必要と思いました。</p>	<p>地域の取組みの評価方法については、各区の推進協でのご意見を伺ったうえで、決定したいと考えております。</p>

令和7年度第2回中央区支え合いのまち推進協議会における意見に対する回答

No.	委員	所属	意見	地域福祉課回答
20	堀江 亜希子	あんしんケ アセンター 千葉寺	<p>地域福祉計画の周知が必要と思いました。地域住民にとってもっと自分事でないとならない地域作りについて、どうしたら自分事になるか?ということなどを、これまで参加してこなかった地域住民への周知についての項目も盛り込まれることを期待します。</p> <p>地域福祉課の方もご存じと思いますが、地域団体の担い手不足は世代を問わないものとなっていると思います。最前線で地域活動を行っている方々の多くは、高齢の方です。今後、個人主義が進み、高齢者人口が増える中で、地域で暮らす人々を支える地域資源は十分ではありません。そういった現状を地域住民だけでなく、行政も一緒になって取り組むという姿勢を提示した地域福祉計画となっただけだとありがたいです。</p>	<p>ご意見のとおり、地域福祉計画は地域に関わる方々が自分事として関心を持ち、協力していただくことが重要ですので、周知方法を工夫するとともに、市・社協と地域の方々が一緒になって地域生活課題の解決に向けて取り組める計画となるよう留意してまいります。</p>